

たにざき じゅんいちろう

# 谷崎潤一郎

リズ

JAPN 402

2019年4月30日

# 生涯



- 1886年(明治19年)-1965年(昭和40年)
- 出身地は東京の日本橋
- ノーベル文学賞にも最終候補までノミネートされている

数少ない作家のひとり

げきさつか ずいひつか

- 小説家・劇作家・随筆家
  - 随筆・戯曲・翻訳・和歌
- <sup>じょうち</sup>情痴や時代風俗などのテーマ

# 主題



- 女性愛やマゾヒズムなどのスキャンダラスな小説
- 代表作:『刺青』『痴人の愛』『卍』
- 1956年 - 『鍵』を発表
- 1961-1962年 - 『瘋癲老人日記』

説

しせい

まんじ

# 痴人の愛

あさ はくじょう

「私はここで、男と云うものの浅ましさを白状しなければなりません、昼間はとにかく、夜

の場合になって来ると私はいつも彼女に負けました。私が負けたと云うよりは、私の中に

じゅうせい せいふく

ある獣性が彼女に征服されました。事実を云えば私は彼女をまだまだ信じる気にはなれ

ない、にもかかわらず私の獣性は盲目的に彼女に降伏することを強い、<sup>もうもくてき</sup>総すべてを捨て

<sup>ふく</sup>て妥協するようにさせていただきます。つまりナオミは私に取って、最早や貴い宝でもなく、

有難い偶像でもなくなった代り、<sup>とうと</sup>一箇この娼婦となった訳です。そこには恋人としての清

きよ

さも、夫婦としての情愛もない。」

# Naomi

“Here I have to acknowledge how base males are. Whatever transpired in the daytime, I always gave in to her at night. Or, rather than "gave in," I should say that the animal in me was subdued by her. The truth is that I still didn't trust her at all, but the animal in me forced me to submit blindly to her; it led me to abandon everything and surrender. Naomi wasn't a priceless treasure or a cherished idol anymore; she'd become a harlot. Neither lovers' innocence nor conjugal affection survived between us.”